

九浦の家ぶらり

東町の人

佐田つまみ画研究所三代目家元

佐田つまみ画美術館館長

佐田 旭榦さん

きよくかん

「つまみ」は宮中の女官の間で四角い小布を畳んで文箱、琴爪の箱、お守り袋などに模様をつける細工として生まれ、江戸中期に大名の奥女中の間に流行したのが町方にも普及した日本独自の技法です」

「つまみ画」は旭榦さんの祖父にあたる佐田豊山氏が明治30年代につまみの技法で、独自に繊細優美な花鳥風景画を完成させたものです。初代豊山さんは女子美術大学の家政科でつまみ画や造花を教えていました。

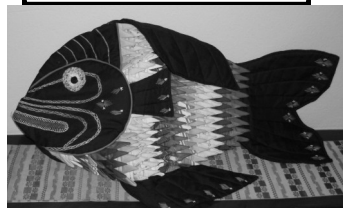
「今、和の文化は衰退しています。羽子板を知らない若者や、着物も着られなくなっています。生活様式の変化もあり手仕事が減っていますから。昔は繕い物は家庭でするのが当たり前で、何度も仕立て直したり、編み直したりして大切に使い、手仕事は日常の生活の一部でした。技術者(職人)に關しても、時間がかかる割に結果がすぐには出ないことも多く、技術の習得には辛抱や

●NO. 110 2016 01 03

吉祥寺東コミュニティ協議会
● 武蔵野市吉祥寺東町
1-12-6
吉祥寺東コミュニティ
センター(九浦の家)
●電話0422-21-4141

訓練が必要なのですが、日本人の後継者が減り、最近では中国、ラオスなどに移行しています」

「皆さんがなさるビーズ細工は固さがあるので糸を通す事で形が出来て、ある程度均一に仕上がりますが、このつまみ細工の絹布は柔らかいので、曲げ具合、力の入れ方で微妙に形が変わります。失敗もありますが、その分上達した時の嬉しさ、作品を仕上げた時の楽しさと、何より手仕事の良さをみなさんにおたえたいです」



平成21年七月女子大通りに美術館を」

「以前練馬では展示のみでした。その後教室を中野のマンションで始めた所、絵を見た方が作り方を知りたいとか、習っている人から作品をもっと見たいなどの声があつて、学ぶ人にも鑑賞したい人にも良い場所をと探しました。中・高は明星学園、大学は武蔵野美術大で、通算8年吉祥寺に通っていたので、出来れば吉祥寺に思っていた所、女子大通りの元鈴木医院の建物が条件に合い、亡くなった先生の奥様が、美術館として使ってくれるならと快諾してくださって実現しました」

二階の展示室には、初代豊山、二代目旭(豊山次女、旭榦さんの母)、旭榦さんの繊細優美なつまみ画作品だけでなく、つまみ細工の歴史を語る貴重な品が、現代のものまで、多種多様な作品が数多く展示され、季節にあわせて内容が変えられています。羽子板は女兒の、薬玉は男児の健やかな成長を願って飾られたそうです。文楽人形の髪飾り、ガラス瓶の中の山車、東北地方のお宮参りの帽子等々、珍しい逸品がみられます。

「つまみ画」の三代目を継ぐことに迷いなどはなかったかお聞きしました。「小さい頃など手先の細かい仕事が好きだったので迷いはありませんでしたね」夫人園子さんも「つまみ画」作家で美術館副館長。エッセイやカルチャースクールなどでも活躍です。



昔の薬玉

予告

- ◇新春おもちつき 百人一首カルタ 一月24日(日) 11時〜13時
- ◇吉祥寺東落語会 一月26日 14時〜 春風亭朝也さん 木戸銭五百円
- ◇アジアを知らう香港4 一月31日(日) 「香港を食べる」 講師 外処佳絵さん
- ◇つどい 一月 28日(木) 10時〜 認知症サポーター講座 講師 ゆとり えつどい 二月 25日(木) 19時〜
- ◇「マイナンバー?」 講師 武蔵野市
- ◇能楽鑑賞講座 二月7日(日) 14時〜 「鶴」 講師 観世流能楽師 青木健一氏
- ◇「町並みウォッチング 三〜四丁目北」 三月27日(日) 集合10時 本宿コミ前
- ◇「コミセンスタンプラリー」 三月19〜26日(土) 午後「防災企画」

東町ニュース

第三中学南の生け垣のドウダンの赤、庭の銀杏の黄色が鮮やかでした。自転車で走ると山茶花の見事な生け垣にあちこちで出会えます。今冬は柿の葉もきれい。柿の実をヒヨドリ、ムクドリ、メジロがむれて啄んでいます。

◎ノーベル賞の大村先生は、美術品のコレクターでもありますが、美術に興味を持たれたきっかけは、買われた野田九浦画伯の芭蕉翁の一軸とのことです。

◎十二月11日早朝の雨風、9時過ぎからの大風で、名残の紅葉が舞い散りました。生暖かい風が吹き、空には雲の固まりが猛スピードで北へ。

◎この強風で吉祥寺駅北口イルミネーションパネル一部倒壊。深夜破損部を撤去。

お詫びと訂正 前号大竹英雄さんを永世棋聖とご紹介しましたが、正しくは名誉棋聖でした。

街づくりができるのは、

市民文化会館の巨額改修 費納得いく説明を求めて

武蔵野市議会議長あてに九月一日「武蔵野の文化創生を考える会(代表東町落合朋子)」が陳情しました。

武蔵野市民文化会館改修工事に関する陳情

平成28年から改修工事を予定している「武蔵野市民文化会館改修工事」に係る詳細な情報開示と、市の考え方が十分市民に浸透していない現状から、あらためて議会での審議と調査をお願いするために、陳情を出させていただきました。市民としては、平成26年七月十日、12日、15日の3回にわたる市民説明会で、資料をいただき質疑を行い、パブリックコメントに意見を寄せることができませんでした。

財政状況は、ここ10年程度はこれまで通りの財政力だとうかがっておりますが、人口が少なくなつて、高齢者が増え、今後30年、50年先にも子どもたちや孫たちが安心して武蔵野に暮らすことができるかどうかは、約束されていません。あらためて、以下の点について御審議いただき、調査を実施していただき、市民への詳細な説明会の開催等をお願いしたいと思います。

3 近頃では、民間企業の手法を取り入れ、複合施設となつている文化施設も多いように思います。本事業で複合施設とされた場合のシミュレーションをお示しく下さい。

4 議会におかれましては、市民にむけて公聴広聴活動の一貫として、「市民説明会」の開催を要望いたします。

同趣旨の陳情が久久保から出ています。

陳情は九月総務委員会で継続、十一月閉会中に開催した委員会審査を経て不採択となり、十二月17日本会議で改修請負予算40億9千万円が決定しました。パイプオルガン関連3千8百万は別だて。他に、工事管理費1億強。

「もう仮契約をしたので、やめたら違約金を払わねばならない」、「計画変更で工期が延びれば工費が5%アップする」という理由で。

東町では十一月下旬から「ご存知ですか?武蔵野市民文化会館の改修に50億円近くが投入されようとしています」現場での説明を求めましょう」というチラシがポスティングされました。

市も議会も周知したといいますが、三月1日号市報一面、経年劣化の改修基本設計の記事での45億強の費用は、右側の緑地に白抜き文字。目立たず見落とした方が多いです。26年五月の市議会全員協議会には27億6千万から56億6千万までの4案が出されたそうです。

劣化改修のほか座席幅拡張(2億強)、トイレのウォッシュレット化(3億強)、エレベーター、エスカレーター設置1億6千万など。(現在のホワイエの右側上り階段分を正面で吸収するため、床面を盛り

上げる(階段化?)ほか。市民文化会館は借地で、毎年借地料を払っています。本議会では「市民も知ろうとする努力が必要」という議員発言もありました。多くの市民が期待している、利便性に優れ、吉祥寺の活性化に資する「公会堂」建て替えはどうなるのか。

東京都、女子大通りを「優先整備路線」とすると発表

東京における都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画)

女子大通りについては、以前から極狭の歩道について改善要望はありましたが、最近では積極的な働きかけはありませんでした。今回は、地域住民にとっては唐突にやつて来た、女子大通りの西荻窪境から四軒寺すいすいプラン該当地までの間の拡幅整備計画をこれから10年のうちに行う「優先整備路線化」です。

昭和37年七月に計画決定された後退線は左右均等でなく、女子大通りのカーブを緩くするためか、場所によつて削る幅が南側と北側で大きく振れています。

女子大通りの拡幅整備は、歩行者、乳母車、車椅子、自転車の悲願に近いものではないりましたが、該当するお宅にとつては急な決定です。該当者への早急な説明会を求めています。

都は計画案を十二月18日発表し、28年二月10日までパブリックコメントを求めています。



一年生「サンバでスマイル」ひげが似合います。
↓ 三中生炊き出しのプロパンのつなぎかたを習う



◎十二月五日、三中生110名参加の防災訓練。先生方も多数参加され、防災会、防災推進員の他に地域住民も参加。若者に避難所開設の技術や手順を知ってもらえ、地域は訓練をやる度に新たな課題に気づきます。

◎松井外科病院は、松井検クリニック吉祥寺プレイスに。内科外科外来として再スタート。

◎戸別収集で取まっていたのに、近頃カラスがまたゴミ袋をあさり、道に生ごみが散乱しています。容器に入れることをお勧めします。

◆東町事件事故(九月十一月)

事件 自転車盗7車上ねらい3(2件は駐輪中の自転車前カゴ) 住居侵入2 窃盗他3 器物損壊1 住居侵入・窃盗未遂1計17件 自宅敷地内駐輪中の無施錠自転車が多く被害に遭っています。

交通事故(九月29〜十一月23日)

物件事故 一丁目車×車3車×自転車2
二丁目車×建造物2 三丁目 自転車×自転車
1 不申告2件

人身事故:十月26日2時頃 東町一丁目8で車×歩行者(ひき逃げ軽傷)黒っぽい車。十月19日22時頃宮本小路で自転車同士の事故。十一月20日10時頃二丁目15でバイク×自転車軽傷。十一月10日18時前ほともつと前交差点内で車×自転車の重傷人身事故。

▼五月の三丁目目で宅配便を装う強盗未遂事件、容疑者3名を武蔵野署が十月6日逮捕発表(防犯カメラで割り出し)。

▼九月十五日 JR 不審火犯三丁目目で捕まる。

◎九月以降東町は火災ゼロ。

◎武蔵野消防署吉祥寺出張所、改築のため十二月20日南町四丁目16の仮庁舎へ移転しました。



↑すいすいプランで取り壊し前のみすず本社。右の部分がなくなる。



青少協が募集したポスター。シートベルトをしっかりと!

そこで生活する私たちです。

「外環の2」話し合いの会を中断し、中間まとめ作成に

市民構成員全員²の不要意見

第24回「武蔵野市における外環の地上部街路に関する話し合いの会」(十二月17日)は、第23回話し合いの会(十一月19日)地上部街路整備効果についての意見の残りを18時から3時間で行いました。

23回話し合いの会で、この地上部街路は、「現在『計画検討路線』であり、『優先整備路線』ではない」との東京都武田課長の発言がありました。

都市整備局都市基盤部街路計画課は十二月19日、東京都全体の事業化計画を策定する「東京都における都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画)(案)」を公表、パブコメを募集中ですが、ここに青梅街道から東八道路までの「外環の2」が「計画検討路線」として挙げられています。

今回の話し合いは23回に続き、都が出した「外環の2」の必要性(整備効果や影響)データに対する構成員の質問・意見への東京都の回答でしたが、意見交換のあと、足掛け7年間の「話し合い」を踏まえた意見を構成員が各自表明しました。(3人が文書で、9人が口頭で)

結果は、12名全員が「地上部街路」外環の2について反対意見でした。

・南北の道路は必要ない。東西道路を整備してくれた方がよい。
・本線は現実化しつつあるのだから、外環の2は武蔵野市には必要ない。
・6年間の話し合いで外環の2を作る必要性は感じない

・市民生活破壊やコミュニティ破壊で反対が多い。必要性を感じない。

・生活道路への流入を防ぐに必要というなら、既成道路を改修すべきだが、出来ない理由が示されない。地上部街路はどれも賛成していない。

・有害無益である。計画の即時中止を望む。
・市議会と行政と住民の三者が外環の2の必要性を認めていない。すなわち反対の立場である。

・外環の2計画を廃止すべき時に事務局が怠ったために起きた問題と考える。
・地域住民に著しい不利益を強いる結果になるために反対である。

・外環の2計画を廃止してほしい。コミュニティを破壊してまで造る必要性はない。
・その2街路は都の言う効果の有無とは別の新たな問題を引き起こす。必要ない。

・故糸井氏、井部氏の分を含め発言したい。廃止して建築制限を解除してほしい。

この回で「話し合いの会」を中断し、年明けに、「中間のまとめ」作成に向けて打ち合わせの会を持つことになりました。今後の「話し合いの会」の再開は、事務局レベルでは約束されました。

構成員の疲労の色は濃い。3時間という長さ以上に、抽選選出だったため他の人の分も責任を感じるし、住民の立場を伝えきれなかったの思いがあるようだ。

邑上市長は七月のタウンミーティングで「基本的に必要性を認めておりませんが、反対という立場で東京都も国交省もとらえております」と発言しています(第61回タウンミーティング報告書14頁)。

本線上の住宅に対しては、家屋調査が始まろうとしています。

外環の2訴訟 結審

四丁目上田誠吉さんが平成20年に「外環本線が高架式から大深度地下式に変更された以上外環の2計画自体の存在理由・意義は失われている」と、都市計画決定の無効確認などを求めたもの(誠吉氏没後夫人が継承)。昨年十一月17日東京地裁は「都市計画決定が処分行為ではない」として、原告主張について具体的に触れることなく訴えの大半を却下、弁護団は即日控訴しました。

17日夜南コミセンで110名が参加して「外環の2訴訟判決報告集会」を行い、弁護団から経過説明がありました。

◎青少協本宿地区、十二月22日若い世代向けに「外環問題学習会」を行いました。



◎十一月6日013まつり。園庭の移動動物園は子牛からネズミまで。幼児が怖がらずに抱っこしています。ステージでは15名の母親によるベリーバック(おんぶ)ダンスのチャダンス。職員の「仲良くなれるよ」の声かけてチームを作り、コミセンで

ちよこちよこ練習を重ねたそうです。



◎住宅街のイルミネーションは、すっかり「FD化」。西荻窪行東町二丁目バス停で降りると素晴らしいのに会えます。

◎吉祥寺図書館東の東町住民メイン通勤通路は、呼称「本町稲荷通り」に決定。

◎九月4日昼過ぎ、九浦の石畳が3時間ほど冠水する豪雨。11日夕には大きな虹。

◎光会の秋祭りには、東保育園の父母の太鼓グループ「鼓鳩(ゴバト)」が熱演。楽しそう。神輿と引き太鼓には、親子300人超。四軒寺町会は12・13日2日間引き太鼓に子供20人の参加。幼児が確実に増えています。

◎十月初め、松井病院検査棟に、28年4月保育園「子どもと幼児園」開設のお知らせ。

◎十月アコレ西角にクリーニングのホワイトハウス開店。二階にボディメイクダイエツトサロンJINK BODY

◎五日市街道南側本橋ビル2階にビストロカレ Quart de soupir.

◎町内3カ所に、交通事故の目撃者を捜す立看板です(上写真 後ろの事故を参照)

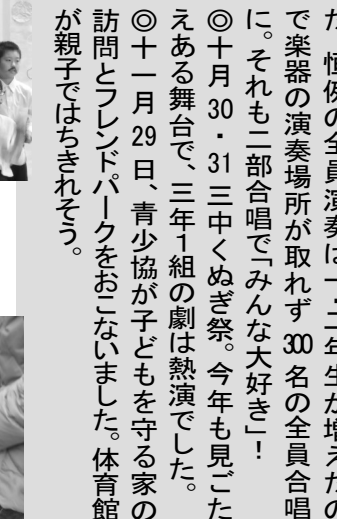
◎十月24日午前、月窓寺で住職が代わる「晋山式」。サンロードでお練りがありました。

◎みず建設が四軒寺交差点すいすいプランのため十一月16日解体開始。社屋前面を削りセットバックし、残った西部分を一軒後ろの新社屋と連結しました(左上写真)。

◎十一月14日はこの子発表会。観客席は超満員。音楽も劇も素晴らしい出来上がりでした。恒例の全員演奏は一・二年生が増えたので楽器の演奏場所が取れず300名の全員合唱に。それも二部合唱で「みんな大好き」!

◎十月30・31三中くぬぎ祭。今年も見ごたえある舞台で、三年1組の劇は熱演でした。

◎十一月29日、青少協が子どもを守る家の訪問とフレンドパークをおこないました。体育館が親子ではちぎれそう。





11月23日14時～開場
直後もう満員の人気

ヴァイオリンコンサート

若手実力者の吉田篤(東京芸大講師)さんを迎え、九浦の家音楽会プロデューサーでもあるピアノの田鶴浜静子さん共演のモーツァルトヴァイオリンソナタをメインに、タイスマ瞑想曲、チャルダッシュなどお馴染みの名曲の数々で魅了しました。チケットは販売開始15分で50枚完売でした。

当日アンケートは75%驚異の回収率。東町に多くのリピーター、60歳以上が多く、クラシック好み。まさに地域の音楽会でした。

アジアを知らう香港編3 九月5日

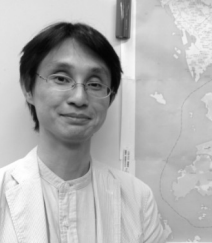
「新発見!映画の中の香港」

道上知弘慶心義塾大学非常勤講師

気鋭の中華電影映画(研究者らしく學術的に、時には映画への情熱を込めて語りかけます。先ず中国映画とは、そもそも何か?)

歴史・民族・文化で繋がる兩岸三地(中国・香港・台湾)でありながら、中国言語の北方官話(北京語)広東語、閩(台湾)の互に通じない、方言としての差異から説き起こし聴手を引き込みました。20世紀初頭の映画や、黎明期の香港映画の貴重な映像をはじめ、中聯、四大公司時代のブルース・リーの姿を目の当たりにしました。

た。広東語映画の隆盛と衰退などの他にも、転機と



なつた「ドラマ獅子山下」は香港社会の貧しい現実が映し出され、未公開や秘蔵の作品を観ることが出来ました。ゴールデン・ハーベスト以降のブルース・リー、マイケル・ホイ、ジミー・ウオングあたりで時間切れとなつてしまつた残念です。ご活躍を期待しています。

コミセン

「災害時「コミセン」の役割は？」

コミセンは25年四月の「武蔵野市地域防災計画 修正」で、災害時地域支え合いステーションに位置づけられました。九月24日市民活動推進課の北原課長に、市の期待することを聞き、コミセンにできること、地域住民の立場からの期待などを話し合いました。思いやりルームとの兼ね合いなど、整理しなければならぬ課題が多々あります。

出張ついで「武蔵野ふるさと歴史館」

境の西部図書館あとにできた「武蔵野ふるさと歴史館」を2時現地集合で十月29日見学。事前に依頼したため学芸員の丁寧な解説つきで市の通史が理解でき、懇談もしました。12名のうち初参加の2人は、最近引越してきた方。エントランス床の大地図で自分の住んでいる位置が確認できます。収蔵品は縄文土器、石器から古文書、農具・民具、中島飛行機関係など。ガラスの仕切り越しに見せる収蔵庫になつています。市内の小学生在が授業で見学にきています。戦中、戦前の生活具なども集めたいそうです。寄贈は館に問い合わせを。

「延命寺と中島飛行機の空襲」十一月26日19時

この日の語り部は東京初の爆撃を受



けた中島飛行機製作所近くの延命寺住職中里崇亮さん。昭和19年十一月24日B29

の初爆撃以来20年八月8日まで11回の爆撃。小学校2年の秋から3年終戦までの体験です。近くに高射砲陣地ができたため、住宅・農地も大被災しました。お話の内容は当日の資料があります。

十二月は恒例

私の・街の今年の(十)重たいニュース

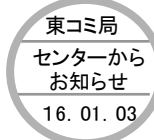
クリスマスイブでしたが16名参加。初孫や韓国での歌の交流に加え、盲腸手術が二人も。街ニュースは中国系外国人(住民も観光客も)が増えた、建替えが進んでいるなどウオッチング視点。法政記念館跡地の掘削貯留槽の完成やバウスシアター跡地の掘削工事も大きいですが、最大は年末飛び込んできた女子大通りの拡張事業優先整備路線指定のこと。今後十年の取り組みです。

九浦バス研 晩秋の佐原へ

十一月25日は雨催いでしたが香取神宮や町並み散策、酒造試飲、伊能忠敬記念館などを楽しみました。香取神宮ご祭神は経津主と伊波比主。十二月の五穀豊穰を祝う団暮祭では女神伊波比主はお酒は飲まない?なので、新穀の輪団子を奉納。写真は藁製の酒甕ほどの大きさの団子を供える台です。そういえば、名物土産はお団子でした。



境内に地震を起す地中の大鱧を押さえる要石が、地震地帯なのですね。



▼百人一首カルタ大会(十一月28日)は、90歳から小学生までの、昨年より参加者が少なかった分、各級とも熱戦でした。

▼九浦「軽スポーツの日」(スカットボール、輪投げなど)を十二月以降毎月行います。

▼入り口北側のマンホールの沈んだ蓋を修理。以前の水漏れの影響らしいです。

▼競技カルタ「ゆらのと云鎌田里子さんが、年金と暮らしの快適情報誌「ゆたか」の取材を受け、冬号の「サークル万歳」欄に記事が載りました。

▼九月30日落語は「代脈」「天災」の2席参加36と、認知度が上がつてきています。

▼児童室の開館以来の時計を電波時計に。地震に備え、玄関のスリッパ入れと靴箱をL字金具で固定しました。

▼今年もコミセン運営の自己点検。5日の臨時運営委員会兼新年会で行います。

▼40周年を控え、九浦の家だよりデジタルアーカイブ化(記憶から記録)を計画。

▼フリーマーケット(十一月1日)お客は200強で五月のフリーマより少なめでしたが、ゆつたりとてかえって品定めがしやすかった面もあったらしく、売り上げはよかつたコーナーも。好天で楽しい一日でした。

▼子どもを守る家になつている九浦の家を、十一月29日、児童4グループが訪問。

▼牛乳パックは必ず乾燥し、開いて回収箱へ。

▼九浦の家グーグルアースに表記されました。

▼九浦の家では古切手に加えてベルマークもお預かりすることになりました。本宿小b'nに届けます。切手はきれいに切らなく結構です。

あけましておめでどうございませう。今年も九浦の家をご活用ください。